

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年6月16日 (2016.6.16)

【公開番号】特開2016-56377(P2016-56377A)

【公開日】平成28年4月21日 (2016.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-024

【出願番号】特願2015-253367(P2015-253367)

【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 121/00 (2006.01)

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 107/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 107/00

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 11/08

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

i ) 少なくとも 1 つのエポキシ樹脂 A と、加熱により活性化される、エポキシ樹脂用の少なくとも 1 つの硬化剤 B とを含む熱硬化性エポキシ樹脂組成物である、少なくとも一つの硬化性構造用接着剤、及び

i i ) 少なくとも一つの化学的に架橋されたエラストマー、を含み、前記化学的に架橋されたエラストマーは貫入ポリマーネットワークとして前記構造用接着剤中に存在すること、並びに

前記架橋されたエラストマーは、  
・ 少なくとも 1 つの天然ゴム又は合成ゴム、及び少なくとも 1 つのゴムのための架橋剤  
; 及び

・ 少なくとも 1 つのポリイソシアネート、及び少なくとも 1 つのポリオール、  
からなる群から選択されたエラストマーから形成されていることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

前記架橋されたエラストマーは、  
・ 少なくとも 1 つの天然ゴム又は合成ゴム、及び少なくとも 1 つのゴムのための架橋剤であるエラストマーから形成されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記架橋されたエラストマーは、  
・ 少なくとも 1 つのポリイソシアネート、及び少なくとも 1 つのポリオールであるエラ

ストマーから形成されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

- ・エポキシ樹脂 A を少なくとも 1 つの硬化剤 B と混合する段階、
  - ・以下から選択されるエラストマーを添加し、かつ混合する段階
- 少なくとも 1 つの天然ゴム又は合成ゴム、及び少なくとも 1 つのゴムのための架橋剤  
；及び

少なくとも 1 つのポリイソシアネート、及び少なくとも 1 つのポリオール、  
・前記エポキシ樹脂 A と前記エラストマーとを貫入ポリマーネットワークにする段階、  
を含む、請求項 1 に記載の組成物を製造する方法。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の組成物を含む、成形された物品（ 3 ）。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の成形された物品（ 3 ）が取り付けられる支持体（ 5 ）を含む構造用部品のキャビティを補強する補強要素。

【請求項 7】

支持体（ 5 ）が金属で覆われたプラスチックから作られることを特徴とする、請求項 6 に記載の補強要素。